まちづくりに向けた町民提言書を提出

遠藤町長に提言書を手渡す清野明会長（中央）と木賊康博副会長（右）

町では、今後のまちづくりの指針となる第６次総合計画策定にあたり、町民の意見を把握し、計画に反映させるため、公募等によって 21 名の方が参加した「まちづくり委員会」を、昨年 10 月から 12 回にわたり行ってきました。今回、委員の皆さんからの提言がまとまり、清野明会長から遠藤町長に提言書として手渡されました。

意見書では、５つのテーマにおいて今後のまちづくりに活かしてほしい意見をまとめており、町では、現在策定中の第６次総合計画（計画期間 10 年）において、町民の皆さんの貴重な意見として反映させていく考えです。

★第６次総合計画策定のための提言のまとめ★

これまでにとらわれず、変化に応じて“発想の転換”を大事にし、すべての町民が安全・安心な生活を送ることができるまちづくりを進めましょう。

子育て・健康・福祉について

- 地域全体で子どもの成長を支える環境をつくりましょう
- 共働き世帯が、子育てしやすいまちをつくりましょう
- 子どもが安心して遊べる環境をつくりましょう
- 子育て世代の悩みを解消できる環境をつくりましょう
- いつまでも健康で過ごせる、健康寿命が長いまちをつくりましょう
- 高齢者等の交通弱者をサポートできるしくみをつくりましょう
- 障がいのある人もない人も誰もが、充実感や達成感、満足感を持ちながら暮らせるまちをつくりましょう
- 時代の変化に合わせ、具体的な戦略をもった「福祉」が展開されるまちをつくりましょう

教育・文化・スポーツについて

- 子ども達が健やかに学べる環境をつくりましょう
- 包括的に子育てを支援するしくみをつくりましょう
- 若い世代に関心が高いスポーツ種目が楽しめる環境をつくりましょう
- 体育施設の充実やかがみいしスポーツクラブを活かし、スポーツによる体と心の健康をつくりましょう
- 子どもから大人までがつながり合い、学び続ける環境をつくりましょう
- まちの魅力が次世代までつながる環境をつくりましょう
- 鏡石の文化を活かして人々が集える環境をつくりましょう

協働・コミュニティについて

- テレワークを進め、働きながら充実した生活を求める人や地域ビジネスの展開で、課題解決も図れるような企業が集まるまちをつくりましょう
- 地域の交流の場を広げ、世代や性別にとらわれない、地域がつながる環境をつくりましょう

産業・観光について

- 農業と観光の結びつきを強めて、農業の魅力をもっと高めていくような環境をつくりましょう
- 農産物の価値を高め、農業後継者が育つことができる環境をつくりましょう
- 農・商・工業がさらに連携し、人がもっと集まるまちをつくりましょう
- 若い世代をターゲットにした、賑わいを生み出すまちをつくりましょう

都市環境等について

- 交通の利便性を活かした商業施設の誘致などにより、人がもっと集まれるようなまちをつくりましょう

パブリックコメントを実施します

町では、第６次総合計画の策定について、より広く町民の皆様からご意見をいただき、素案へと反映させていくためのパブリックコメントを実施します。詳しくは町公式ホームページをご覧ください。

【パブリックコメントの実施期間】
9月 24 日㈮～ 10 月 15 日㈮

敬老会の中止による敬老祝品の受渡しについて

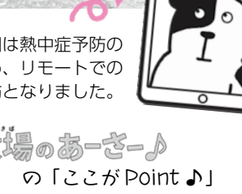
今年の町主催の敬老会につきましては、昨年同様、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止することといたしました。敬老祝品の受渡しについては、各地区に受領所を設けますので、送付された**案内はがきを必ず持参の上、**お近くの受領所へお越しください。

・受領所での敬老祝品の受け渡し日時　　９月 18 日㈯　９時～正午まで

なお、案内はがきを紛失された方、当日受け取りができない方は、９月 22 日㈬以降（土日祝日を除く）に町勤労青少年ホームにお越しください。

【受領所一覧】

1	あやめホール（鏡石一小内）	6	豊郷構造改善センター
2	笠石多目的集会所	7	仁井田多目的集会所
3	久来石転作センター	8	旭町コミュニティセンター
4	鏡田転作センター	9	高久田多目的集会所
5	成田保健センター	10	さかい集会所



●**問い合わせ先**　福祉こども課　☎ 62-2210

牧場のあーさー♪と行く“まちの文化財探訪記”

鏡石町内には、先人たちの残した貴重な文化財が数多くあり、次の世代に伝えるため、保護・保存には町民の皆さんの協力が必要です。

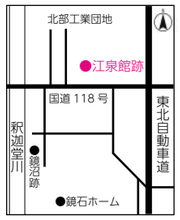
『温故知新』 新しきまちづくりの糧となることを願い、町の文化財を紹介していきます。さあ、皆さんも牧場のあーさー♪と一緒に文化財を訪ねましょう。

【第５回】江泉館跡（所在地：深内町地内）

この「江泉館跡」は、深内地区南側の標高 275.9 メートルの丘陵をそのまま利用して築城された城館の跡で、江戸時代の地誌「白河風土記」に「江泉館、村ノ北裏ニアリ　高サ十間館主深内藤内ノ遺跡ト云ヒ伝フ」と中世館跡として記載されており、須賀川市史によると、鎌倉初期に二階堂行村が岩瀬西部を所領した時の拠点となった稲村館の東南の守りとして構築されたものと考えられています。

275.9 メートルの山頂を平らにして、東西約 100 メートル、南北約 40 メートルに幅 2 メートルの土塁を築き、急斜面や谷間など自然の地形を利用した堅固な館（跡）であり、町内の貴重な中世城館遺跡です。

なお、この南斜面から江泉館板碑群が集中的に発見されています。



今回は熱中症予防のため、リモートでの探訪となりました。

牧場のあーさー♪の「ここが Point ♪」

①画面からでも、ただならない雰囲気が伝わってくるモー

●**問い合わせ先**　町公民館　☎ 62-2031